

秋工ROB会関東支部より

ラグビー部創部90周年記念式典行事に出席して

森 健 (昭和44年 電気科卒)

秋工ROB会関東支部 副支部長
東京秋工会 副幹事長



私が母校を卒業して47年が経過しました。在学中はラグビー部に所属し、3年間汗と泥にまみれて過ごしました。また、在学中は、実家が象潟であったため、「金砂寮」という寄宿舎に居住し、厳しくもありましたが、振り返れば有意義な寮生活を過ごした事等が、母校の校門を通る度に走馬灯のように脳裡を駆け巡ります。

さて、ラグビー部は、昨年、創部90周年を迎えました。この間、正月に実施される全国大会への出場65回、優勝15回は、高校全国最多の記録であります。

これは、それぞれの時代の指導者、部員が懸命に実績を積み重ねて来た事の賜物ですが、それを支えて下さった歴代校長先生を始めとする学校関係者の皆様、後援会、同窓会等の皆様の支えがあってこそこの実績であったと深く感謝申し上げます。

1925年(大正14年)楕円形のボールを持ってスタートしたラグビー部は、昨年(2015年)9月12日、創部90周年記念式典を挙げるに至りました。当日は、あきぎんスタジアムにおいて、少年ラグビースクール交流試合を皮切りに、秋工竿燈会によるアトラクションを挟んで、

現役1年生チーム対秋工レジェンドOBチームの試合が、最後に京都から招待した伏見工業高校との記念試合が組まれました。

伏見工業高校は、テレビドラマの「スクール・ウォーズ」で泣き虫先生のモデルともなった山口良治先生が育て上げた関西でも有数の強豪高校で、全国大会優勝4回の実績を誇っています。当日は約2千名の観客が、あきぎんスタジアムに集り盛大に挙行されました。試合結果は、29対33と敗れはしましたが、現役部員にとっては関西強豪高校

のレベルを肌で実感するまたとない機会になったと思われま。伏見工業高校との試合を糧に、翌10月全国大会秋田県予選で中央高校との試合に挑んだのですが、結果が10対12の惜敗となったのは、皆さまご承知の通りでございます。

しかし、この伏見工業高校との一戦が、次の創部百周年に向けてのスタートだったと言えるよう現役指導者・部員は、その後も日々研鑽を積み重ねている事をお伝え致します。

90周年記念式典及び祝賀会は、会場を秋田キャッスルホテルに移して行われました。

式典・祝賀会には、約250名の方のご参集をいただき、式典ではOB会渡辺会長から90周年記念式典開催に当たっての各方面に対する謝辞、秋工ラグビー部の真髄並びに今後の目標等について話した式辞から始まり、堀井秋田県副知事を始めとするご来賓の方から90年の歴史に対する賞賛と今後の期待等暖かいご祝辞をいただきました。

祝賀会でも、同窓会顧問・富樫衆議院議員、同窓会長・工藤県議会議員の祝辞に続いて伏見工業高校ラグビー部総監督山口良治氏及び新田高校ラグビー部OBでジャパンの監督をなされた向井昭吾氏からも温かいご祝辞を賜り、会に花を添えて頂きました。

式典を通じ、90年の長きにわたり、本当にたくさんの方の支援を頂きながらラグビー部は存続して来たのだと実感する事が出来ました。

全国大会の初優勝は、1932年(昭和8年)で、以後15回の優勝を重ねましたが、最後の優勝は1987年で、30年近く覇権から遠のいており、決勝の舞台も1995年が最後で20年程経過しております。東北勢としても全国大会における最後のベスト4進出は、2001年の仙台育英高校で、東北全体が実力低下していると言わざるを得ません。その理由は、高校ラグビーは西高東低と言われて久しく、東日本勢としては神奈川県桐蔭学園高校が唯一奮闘している状況です。しかも、私立高校全盛の時代でもあります。その理由は、西日本勢の少年ラグビー育成が長年にわたって着実に進められて来た事が土台となり、それに加えて、活発に行われる有為な人材確保、練習環境の整備等私立高校が強化策を優位に進められる環境にあり、その結果が、関西勢、東福岡の覇権が続いている事に現れています。



昭和8年 秋工全国大会初優勝

現在の秋工ラグビー部を取り巻く環境は、秋田県の人口減少率が全国第1位、生徒数も我々が在籍していた頃と比較すれば男子生徒は半以下と減少しております。それに加え、多種多様なスポーツが存在する現在は、昔日と比較し、有為な人材をラグビーへ確保するにも困



創部90周年の秋工竿燈

秋工ROB会関東支部より ラグビー部創部90周年記念式典行事に出席して

難度が増している等、各種要因が重なっており、取り巻く環境は厳しいものがあります。

このような時代にあって、公立の工業高校が私立高校全盛の全国で活躍していくためには、勝つためのシステム作りを構築するため、組織を挙げて取り組む必要がありますし、これまでと同様皆様方のお力を得ていかなければならないと思われま。

以上のような現状を打破し、16回目の全国大会優勝という秋田工業ラグビー部の目標を達成するために、現役、OBが一丸となって、有為な人材確保を目標にリクルート活動の活性化、監督、選手のトップリーグチーム及び大学チームへの研修派遣、若手OBの母校グラウンドにおける実地指導等着実に取り組んでおります。

全国の公立高校で、過去10年のベスト4以上を顧みますと、奈良県の御所実業高校が、同県内で名門校である天理高校と切磋琢磨し、全国トップレベルで活躍しているのが目立っておりますが、他は、昨年記念試合で対戦した伏見工業高校が2007年に準優勝、同年に長崎県の北陽台高校がベスト4に入っているだけです。圧倒的に私立高校優位の情勢ですが、御所実業高校については秋田工業ラグビー部も大い



2016年3月東北大会新人戦 仙台育英戦に勝利し秋工優勝

に参考としなければならないと考えています。一朝一夕に達成できる目標ではありませんが、段階を踏んで着実に歩いていこうと再スタートを切ったところでございます。

皆様方に1日でも早く良い知らせをお届けできるようラグビー部のOB、現役が一体となって頑張っていく所存でございますので、今後とも皆様の温かいご支援の程、よろしくお願い申し上げます。



2016年3月 選抜ラグビー大会での旗



2016年選抜ラグビーの応援席

●写真：東京秋工会HP

私たちと一緒に
未来に架ける橋梁を造りませんか...

PC(プレストレストコンクリートの略)工法による橋梁建設の専門業者です

新栄橋梁建設株式会社

本社 〒330-0841 埼玉県さいたま市大宮区東町1-117 大宮A-Tビル301号 TEL.048-645-0172

代表取締役 秩父 清二(昭和39年土木科卒)

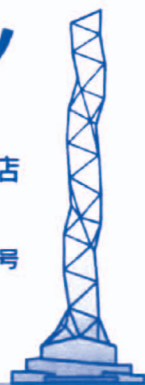
株式会社 アドテクノ

技術コンサルティング
Friction Stir Welding Tool 輸入代理店

〒300-0063 茨城県水戸市五軒町1丁目5番48号

取締役 佐々木 武 (昭和29年機械科卒)

TEL. 029-233-3380 FAX. 029-221-7789



株式会社 汎建築設計事務所

代表取締役 鈴木 誠一 (昭和38年建築科卒)

一級建築士
コスト管理士

秋田市保戸野すわ町14-23

TEL 018-862-3449

FAX 018-862-3289

E-mail : han_0416@cna.ne.jp

URL : http://www.cna.ne.jp/~han_0416/